



園長だより

いっしょに楽しむ子

令和6年6月25日
富士市立昭和幼稚園

今年の4月から、給食の主食である米飯は幼稚園で炊き、子どもたちに提供するようになりました。ほかほかの温かいご飯は美味しいようで、お代わりをする子が増えてきました。そのためでしょうか、6月に入って、幼稚園をお休みする子の数が、とても少なくなってきました。よく遊んで、よく食べて、元気な体と心が育ちつつあるようです。

ひよこ組



初めてのお菊祀りの日、ひよこ組の子どもたちは、みんなで一緒に感謝のお祈りをしました。さくら組のアイスクリーム屋さんでのお買い物ごっこも、とても楽しかったようです。ひよこ組の部屋では、友達と一緒にレストランごっこ。「いらっしゃいませ!」「何にしますか?」と元気いっぱい。砂場でも友達と一緒に。交通教室のお話も座ってしっかり聞くことができました。

さくら組



さくら組の子どもたちは、一人一人お線香を持って、お菊塚にお参り。初めてお線香を手にした子もいたようです。ひよこ組をお客さんに張り切った子どもたち。目的をもって“作る”ことを楽しんでいます。はさみや泡立て器の使い方が上手になりましたし、落ち葉や木の実なども発想豊かに活用することができます。東図書館への往復で、横断歩道の渡り方も身に付きました。

青組



お菊祀りの読経をしてくださった長学寺の吉村住職に、青組の子どもたちが御礼の手紙を贈りました。昼休みに出かけた吉永第一小学校の運動場では、高い肋木や大きな滑り台に登って大喜び。泡・色水遊びでは、自分のイメージをもって素材を上手に組み合わせ、パフェやケーキを表現。でき上がった商品で、お店屋さんごっこを楽しむ子もいました。“からだ教室”では視力検査の練習も。お家の方をお客さんに、ジャガイモ販売。ちょっぴり恥ずかしそうでしたね。